



東俣野 9月号

東俣野小学校 学校だより

令和元年8月27日

夏休みを終えて

学校長 岡田 浩

38日間の長い夏休みが終わり、子どもたちの元気な姿が学校に戻ってきました。久しぶりに学校の校舎も生き生きしている感じがいたします。

夏休み前、7月19日（金）の朝会では、子どもたちにこう話しました。

「夏休み中に、大きな事故や怪我がなく、8月27日には、またみんなが元気に登校することが、校長先生の1番の願いです。」

幸い夏休み中に大きな事故や怪我などの連絡はいただいておらず、ほっとしているところです。ご家庭でも交通安全等にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

さて、令和になって初めての夏休み。子どもたちは、それぞれに素敵な思い出を作ることができたことと思います。子どもたちとの私のこの夏の思い出は、4つあります。

まず1つめは、戸塚区水泳大会です。7月30日に小雀小学校で行われました。4、5、6年生37名が出場し、大正小学校や小雀小学校の児童たちと一緒に競い合いました。区の水泳大会は、市の水泳大会のように泳ぎが速くなくても、何とか25メートルくらい泳げるようになっていれば出場できるのです。途中で立ってしまってもまたそこから泳げば構わないのです。自分から進んで区の大会に出てみようという子どもたちが大変多く、とても嬉しかったです。また、本番のレースで自己ベストの記録を出した子どもも非常にたくさんおり、驚きました。中でも印象深かったのが、4人のリレーで、途中で苦しくなってしまう、思わず立ってしまっても、次の友達に何とか引き継ごうと必死になって泳ぎ切る姿です。大会が終了した後に全児童に次のように話しました。

「みんな一人一人本当によく頑張ったね。特にリレーで苦しくても何とか次の人に引き継ごうとする姿は、まるでみんなの住んでいるまちをお正月に走ってくる箱根駅伝のランナーがたすきを引き継ごうとする姿と同じで、校長先生、すごく感動しました！ありがとう！」

2つめは、7月27日に行われた東俣野町内会の納涼祭です。子どもたちの盆踊りやお囃子に熱中する姿や、それぞれのお店での楽しそうな表情や姿など、どれもいい思い出です。

3つめは、8月4日の親子工作教室です。大工の皆様のご指導により、一人一人がとても素敵な作品を作り上げていました。子どもたちは、貴重な体験ができたことと思います。

4つめは、8月17日、18日の影取諏訪神社の盆踊りと御神輿です。特に、御神輿をかついで4時間にも渡り町内を練り歩く子どもたちの頑張る姿に大変心打たれました。

東俣野と影取、両町内会の役員の皆様、子ども会の皆様、幾度にも渡る話合いや準備、そして当日、翌日の片付け、反省会など、本当にお疲れ様でした。両町内会の皆様の、いいまちにしよう、いい伝統を残そう、子どもたちに楽しい思いをさせてやろうという熱い熱い思いがひしひしと伝わってきて、素晴らしいまちだなあ、子どもたちは本当に幸せだなあをつくづく感じさせられました。私を含め教職員たちも、皆様のこのまちで教育に携わる幸せを胸に、これからも地域・家庭と協力し合って子どもたちのために頑張ってまいります。どうぞご協力の程よろしく申し上げます。